



高知市地域

～第1期産業振興計画（地域アクションプラン）の総括（案）～

1 各分野の取り組みの総括

農業

- キュウリやショウガ等の基幹10品目について、高収量、高品質の対策が進み、販売額もほぼ目標とする約94億円を維持している。
- 土佐山地区のユズ搾汁施設の改修により加工体制が強化され、また、大口需要者との取引により販売も安定。（H23生産量949t）
- 春野地区で、民間事業者と農業者との連携による新たな加工品の開発に伴い、農産物の付加価値向上の取組が本格化している。
- 集落営農組織は7集落。2集落増。
- 22年5月に円行寺の牧場内に菓子販売店舗をオープンし、ロールケーキ、シュークリーム等の販売を開始。オープンファームや教育ファームなどのイベントを通じて、集客及び販売額の増につなげている。

林業

- 森の工場を中心に素材生産量は増加している。
- 22年度から開始した県産材の利用促進を図る取組では、4件の商談が成立し、モデルハウス等を活用した構造見学会やイベントに多数の参加者があるなど動きが見え始めている。

水産業

- 地域協議会と女性グループを中心に加工品の開発・販売に取り組んでいたが、自立的な事業体制が確立されていないことなどから足踏み状態となっている。
- 冷凍ドロメの首都圏飲食店に向けた販路が確保できたが、安定的な製造体制が確立されていないため、売上、活動ともに小規模な伸びにとどまっている。

商
工
業

- 22年2月に開設した中心商店街でのアンテナショップの運営は、1年目、2年目ともに売り上げ目標を達成。また、地域産品の掘り起こしでは、353業者、約3,300のアイテムを登録。（うち常時約1,500品を店舗にて販売中）
- はりまや橋100円商店街の開催では、約7,400人の誘客があり、また土佐の豊穰祭と連動した日本一の良心市の開催では帯屋町に延長約600m、約4,300品の商品を販売し、集客効果も大きかった。

観
光

- 22年度の龍馬博、龍馬伝の効果もあり、市内を巡る周遊体験型観光が貴重な観光資源としてその存在感を増している。
- サッカー「アジア大会」や台湾ランタンフェスティバルで『よさこい』が披露され民間の力で本家よさこいのPRがされたが、よさこいのルーツをアピールする体系的な動きが今後必要。
- 新たなご当地グルメの取組は、B級グルメコンテストでグランプリを受賞した「なるこ丼」「しらすラーメン」が市内で展開された時期があったものの話題性が減少しており、新たな商品展開が必要。

2 主要な指標及び目標に対する実績値

項目	目標	実績
主業農家に占める認定農業者の割合	H23：45%	47.4%
ショウガの販売額	H23：23.3億円	25億円
ユズの販売額	H23：1.7億円	1.8億円
有機JAS認定事業者数（累計）	H23まで：5事業者	2事業者
間伐の実施面積	H23：250ha	173ha
うち森の工場の間伐面積	H23：25ha	13ha
うち森の工場の素材生産量	H23：2,000m ³	1,265m ³
中心商店街の空き店舗率	H23：増加傾向に歯止め	増加傾向に一定の歯止め 15.30→15.03%
商店街等の通行量（夏期・休日）	H23：減少傾向に歯止め	減少傾向に歯止め 5.6→6.6万人/日
観光客入込み数	H23：300万人	291万人

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ①

○地域産物を活用した1.5次産業の振興

<ユズ>

№3 ユズを核とした中山間農業の活性化

J A 高知市、J A 高知市土佐山柚子生産組合

【取組の内容】

- ◆ユズ搾汁施設の改修(H21.10月)
※産振補助金を活用
- ◆県版H A C C Pの取得(H23.10月)
- ◆優良母樹の確保対策

【主な成果】

- ・搾汁率の向上
H20 : 16.6% → H21 : 18.8%
H22 : 19.1%
- ・販売額の向上
H20 : 1.4億円 → H23 : 1.8億円
- ・顧客が求める衛生管理(クリーンルーム)が実現し、安定的な販売先を確保

【課題と今後の方向性】

- 生産の安定と高品質化
 - ・担い手の育成と生産基盤の強化
 - ・青果、加工用途果実の生産技術向上
 - ・残渣処理場の確保、コスト低減対策



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ②

○地域産物を活用した1.5次産業の振興

<四方竹>

No 5 四方竹のブランド化による中山間地域の振興

土佐山四方竹生産組合、(財)夢産地とさやま開発公社、七ツ瀧筍加工組合

【取組の内容】

- ◆土佐山地区に製氷機の導入(H22.10月)
※産振補助金を活用
- ◆七ツ瀧地区にボイラー、堆肥舎等の導入
※中山間地域集落営農等支援事業を活用
- ◆新商品の開発(宝みそ、ピリ辛炒め)
- ◆中長期保存技術(=真空パック)の確立
- ◆都市部等での販路開拓



【主な成果】

- ・販売額
H19：33,600千円 → H23：43,030千円
- ・品温対策の強化（予冷）により、腐敗の事故防止が図られた。

【課題と今後の方向性】

- 生産安定対策
 - ・後継者対策、四方竹の生態解明、栽培技術の改善
- 加工能力の改善と適正化
 - ・一次加工施設の作業効率の見直し、能力の向上・整備
- 販路開拓に向けた中長期保存技術の検討
 - ・量販店等のニーズに応じた商品開発

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ③

○地域産物を活用した1.5次産業の振興

<トマト等>

No.7 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上

(有)スタジオ・オカムラ、連携農家

【取組の内容】

- ◆農産物加工施設のオープン(H23.10月)
※産振補助金を活用
- ◆新商品の開発(パスタソース、ジンジャーエール、ピクルス等)
- ◆商談会や見本市などに積極的に参加し、都市部等での販路開拓



〔主な成果〕

- ・農産物加工品の販売額
H23：14,200千円
- ・雇用の創出：正4人
- ・県外の手量販店への出荷、お中元、お歳暮カタログ等ギフトの掲載
- ・加工事業者と農産物生産者との連携体制の構築。加工専用農産物の生産がスタート。

〔課題と今後の方向性〕

- 加工品の安定生産と販路の確保、新たな商品開発
 - ・商談会などへの積極的な参加と新たな販路の確保
 - ・商談・販売計画に基づいた計画生産
 - ・消費者ニーズに応じた新たな商品開発
- 原材料となる野菜の安定生産
 - ・加工専用トマト等の生産技術の確立

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ④

○畜産業の振興

<発酵粗飼料の生産>

№8 稲ホールクロップサイレージを
核にした耕畜連携の推進と二期作
文化の復活

高知市酪農農業協同組合

【取組の内容】

- ◆飼料専用コンバイン、自走式ラッピングマシンの導入(H21.9月)
 - ※産振補助金を活用
- ◆耕畜連携の推進
 - ・水田への牛ふん堆肥散布



【主な成果】

- ・飼料稲の栽培
 - H23：8.17ha、収量：170t
- ・水田跡ソルゴー栽培
 - H23：9.67ha、収量：120t
- ・布師田地区での部会設立

【課題と今後の方向性】

- 栽培面積の拡大、高収量・高品質化
 - ・耕種サイドと畜産サイドとの利用計画の策定
- ・飼料稲以外だけでなく、後作に飼料作物の栽培を推進
- ・地域にコーディネーターを位置づけて栽培・製造技術の指導

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑤

○畜産業の振興

<酪農>

№9 生乳加工品の製造・販売による
新しい酪農経営モデルの創出
高知市酪農農業協同組合

【取組の内容】

- ◆菓子販売店舗のオープン(H22.5月)
※産振補助金を活用
- ◆新商品の開発(ロールケーキ、シュークリーム、プリン等)
- ◆オープンファーム、酪農教育ファームの開催
による店舗のPR
- ◆店舗外での販路開拓



【主な成果】

- ・菓子販売店舗の売上高
H22：8,172千円→H23：11,420千円
- ・23年度から店舗外での販売開始
年間販売額1,440千円
- ・雇用の創出：正2人

【課題と今後の方向性】

- 販促活動の強化と顧客満足度を高める店舗運営
 - ・店舗の知名度を上げるための販促活動の充実・強化
- ・継続的な新商品開発の取り組み

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑥

○林業の振興

<間伐>

№ 10 民有林における間伐の推進
高知市森林組合、林業事業体など

【取組の内容】

- ◆森の工場における間伐の推進
- ◆個人所有林を対象とした協働の森事業の検討



【主な成果】

- ・ 森の工場1団地を新設
計2団地：1,174.59ha
- ・ 間伐実績 H23：173.68ha
うち、素材生産量：2,217m³
- ・ 雇用の創出：正1人

【課題と今後の方向性】

- 搬出間伐を中心とする素材生産量の増大と生産性の向上
- ・ 高性能林業機械の導入、作業道の開設などの基盤整備
- ・ 作業道の開設や間伐材を搬出するための技術を有する職員の育成

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑦

○林業の振興

＜木造住宅の普及促進＞
№ 11 県産材の地域における需要拡大
木の家ネットワーク

【取組の内容】

- ◆モデルハウス「高知里山の家」のオープン (H22.3月)
- ◆モデルハウスを活用したイベントの開催
- ◆森の工場や流通過程での見学会の実施
※産振補助金を活用



〔主な成果〕

- ・商談件数
H23：4件成立（完成2棟、建築中2棟）、商談継続中2件
- ・構造見学会、完成内覧会、森の工場へのバスツアー等イベント 約200名参加

〔課題と今後の方向性〕

- こうち里山を家の販売及び普及促進
- ・PR活動の充実・強化
- ・構造見学会、モデルハウスイベント等の充実・強化
- ・トレーサビリティーの普及促進

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑧

○商工業の振興

＜アンテナショップの運営＞
 №20 中心商店街でのアンテナショップの運営
 (株)まこと

【取組の内容】

- ◆アンテナショップの「てんこす」のオープン (H22.2月)
- ◆県産品の販売
- ◆コミュニティ事業の実施



〔主な成果〕

- ・売上高
2年目：112,934千円
- ・地域産品の掘り起こし
業者数：353業者
登録アイテム数：約3,300品
- ・雇用の創出：**正9人、短15人**
- ・コミュニティの場の提供
 (高齢者向け講座、子育て向け講座、子供向け手作り教室)

〔課題と今後の方向性〕

- 売上の向上
 - ・県内産品の更なる掘り起こし
 - ・地域産品を活かしたメニューの開発
- 商店街との連携
 - ・商店街の回遊性を高めるための企画

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑨

○観光の振興

<まち歩き>

№ 30 「龍馬伝」を契機とした観光の振興

NPO法人土佐観光ボランティア協会

【取組の内容】

- ◆龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」の開始(H21.10月)
- ◆特別コース2コースの新設及び既存コースのリニューアル(H23.4月)
- ◆観光ガイドサポーターづくりの実施



【主な成果】

- ・まち歩きガイドの実績
H23年の累計：3,790人、
うち土佐っ歩1,630人(8コース)
- ・(土佐っ歩)新たなコースの企画化による魅力向上
H24.4月から2コース追加

【課題と今後の方向性】

- まち歩きの更なる魅力向上と団体客の確保
- ・観光客のニーズに対応したコースの新設及び見直し

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑩

○地域産物を活用した1.5次産業の振興

<観光遊覧船>

No 30 「龍馬伝」を契機とした観光の振興

NPO法人きらりこうち都市づくり

【取組の内容】

- ◆観光遊覧船による浦戸湾観光
 - ・3隻目の導入（H22.3月）
 - ※産振補助金を活用
- ◆漁港に寄港してのまち歩きの実施
- ◆宿泊施設とタイアップした「釣り三昧」の実施
- ◆H24.3月から大型船（グラスボート）の運航



〔主な成果〕

- ・乗船客数の増
H21：3,765人 → H23：7,333人
- ・雇用の創出：正3人
- ・地域と連携した観光商品の企画化による魅力向上

〔課題と今後の方向性〕

- 乗船客数の増
 - ・団体客向けの企画商品づくり
 - ・旅行代理店等への売り込み

4 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用実績等

【活用実績】

平成21年度	4件	47,788千円	(農業3件、観光1件)
平成22年度	2件	3,413千円	(農業1件、観光1件)
平成23年度	3件	34,301千円	(農業2件、林業1件)
計	9件	85,502千円	(農業6件、林業1件、観光2件)

【雇用の創出（H21～H23年度）】

	H23年度実績 (H21・22の雇用の継続分を含む)	うち産業振興推進 総合支援事業費補 助金関連
地域アクションプランに伴う雇用の増加	45人	12人

地域アクションプランにおけるふるさと雇用事業の活用人数 12人

